

経営比較分析表（令和6年度決算）

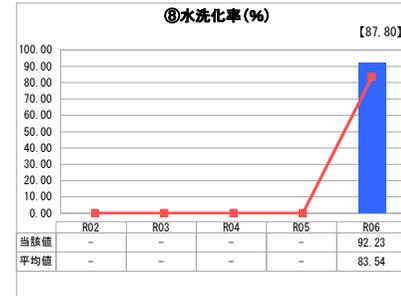
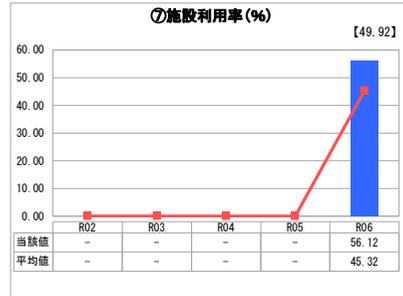
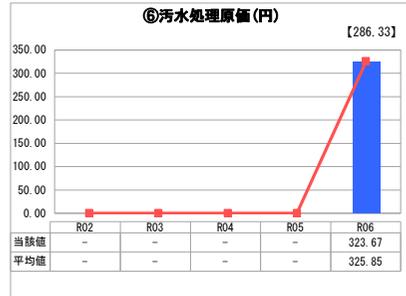
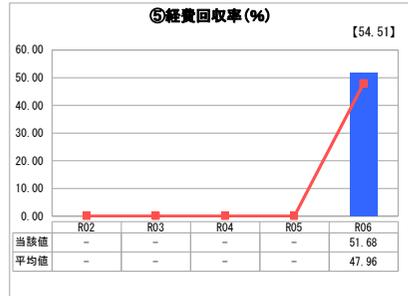
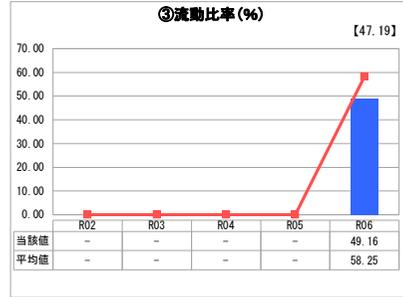
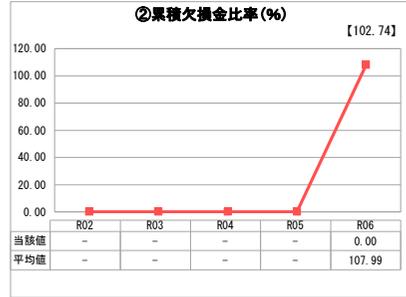
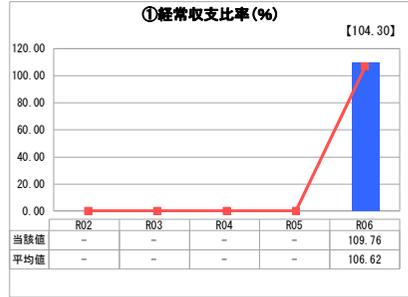
宮城県 三股町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	94.00	5.94	89.12	3,305

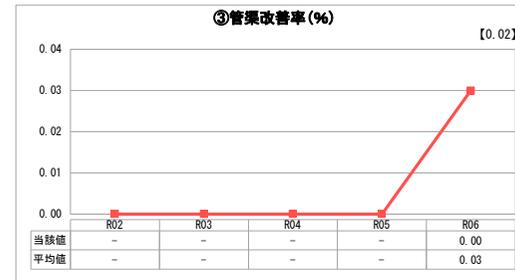
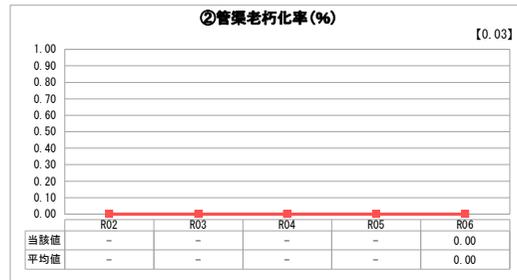
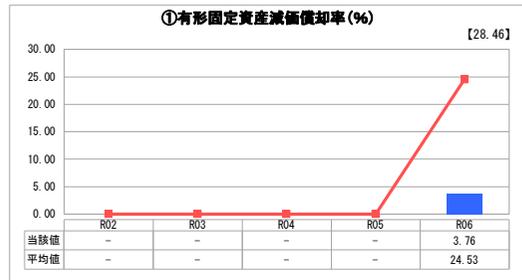
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
25,684	110.02	233.45
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,492	0.95	1,570.53

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

本町は、令和6年度より法非適から法適用となったため、前年度までの数値が入っていません。

①経常収支比率
100%を上回っておりますが、更なる費用削減・使用料確保の取組が必要と考えます。

③流動比率
類似団体平均を下回っており、更なる流動資産の確保に努めていく必要がある。

⑤経費回収率
類似団体平均を上回っておりますが、更なる使用料収入の確保及び汚水処理費の削減に努める必要があります。

⑥汚水処理原価
今後、施設の更新等が予定されていることから、「汚水処理原価」が高くなることが予想されます。そのため、施設の延命化に努める必要があります。

⑦施設利用率
類似団体平均を上回っておりますが、更なる効率性の向上に努める必要があります。

⑧水洗化率
類似団体平均を上回ってはいますが、今後集落排水接続に関する相談を増やすなど、更なる接続推進に努める必要があります。

2. 老朽化の状況について

耐用年数を超えている管渠はありませんが、処理場においては、徐々に修繕が増えていく傾向にあり、老朽化への計画的な財政対応が必要であると考えます。平成25年度に作成した施設最適整備構想計画（長寿命化）に基づき、施設の長寿命化を図り、対応していきます。

全体総括

健全な経営を維持するためには汚水処理費を軽減する検討が必要となります。今後、維持管理適正化計画を作成し、適切な維持管理と、長寿命化を図ることにより、経営への負荷を抑えるなど、改善を進める必要があります。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。